

餓死寸前の高齢者を早く救済してほしい

〔相談の要旨〕

ガス料金を集金するため、一人暮らしの高齢者宅を訪問したところ、この高齢者が餓死寸前の状態で家に閉じ籠もっているのを発見した。

このままでは、この高齢者は、食べ物もなく死亡するとみられるので、早く救済してほしい。

〔相談の結果〕

ガスの集金担当者から、「総務省行政相談委員」の表札を頼りに、突然の訪問による相談を受けた行政相談委員は、このままでは当該高齢者が餓死する可能性があると判断し、ただちに、市の福祉対策担当者及び担当地区の民生委員にその状況を連絡し、入院措置等の検討を依頼した。

市では、この高齢者を緊急入院させて救命し、相談は即日解決した。